

【GIGA×指導の工夫・改善】 今まで教師がめあてを設定し、教師が進めるペースで勧めていた授業を、児童自身がめあてを設定し、自分で課題を見つけ、それを解決するために自分で学習方法を選ぶ取り組み、という形にした。

単元の目標

- 1 角柱や円柱の体積の求め方を理解し、公式を用いて、角柱や円柱の体積を求めることができる。
- 2 角柱や円柱の体積を求めるのに、図形の構成要素に着目して、既習の求積方法に基づいて考え、説明することができる。
- 3 角柱や円柱の体積に関心を持ち、それらを求める公式を導き出す過程を振り返り、学習や生活に活用しようとする。

授業の流れ

今日のミニ講座

ミニ講座に関する課題

めあての設定

自由進度学習

ふりかえり

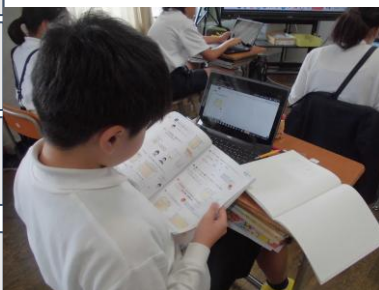
授業の実際（ポイント）

単元のはじめに配布した進捗表を参考にして、自分の課題を見つけて、複数の学習方法（学習ソフトなど）から一つ選び取り組む。最後に自分の学習の振り返りを書き、次に繋げる。

（写真）左：どの教材で課題に取り組むのか、自己決定している。

真ん中：デジタル学習ドリルも複数用意しているので、自分にあったものを選ぶ。

右：自己分析からめあてとふりかえりをしている。



10月11日（金）角柱と円柱の体積ロクスタ
（この時間のめあて）

複合図形は、教科書に書いてある形なら、できるけれど、形が変わると、計算が、わかりにくくなるのでその＼＼がちゃんとどんな形でもできるようにミライシードで、色々な形をやって、できるようになりたい。（ふりかえり）

今日はミライシードの、8-3、テスト、君のおすすめ問題をやった。君のおすすめ問題は、色々私が苦手な問題がおおくあったので、すごく勉強になった。そしてあとイーボードをやった。イーボードの、円柱の問題に時間がかかった。だから次からは、ミライシードはできたので、イーボードをやって苦手をなくそうと思う。

児童の様子

この学習方法を繰り返していくうちに、めあてやふりかえりの書き方、自分で学習し易い方法を見つけていた。理解の早い子ほど、この学習の仕方を気に入りどんどん問題を解いて練習している姿が見られる。また、理解のゆっくりな児童に指導する時間が増えた。

考察

自分で学びを作るということは多くの児童はできてきた。しかし、ミニ講座の解説だけでは理解できない児童や自由進度学習の際に何をやっていいかわからない、と困っている児童もいた。その児童への助言や支援の仕方をもっと考えていけると良いと思う。